
青空

◆,Я Г И

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青空

【Nコード】

N7346G

【作者名】

◆, Я Г И

【あらすじ】

うちの実際にあったこと日記みたいに書いてます。更新しない時期があるかも知れませんがそれは気持ちの整理つけてるときだと思うので、どうか連載待ってあげてください○」

。・・プロローグ・・。

あなたに出会えて

私は

とっても幸せだったよ

あなたは

幸せでしたか？

そして今

幸せですか？

この空を見えていますか——・・・？

第一章 出会う前

ナンデイキテルンダロウ・・・？

そんなことを考えながら生きてる

いたって普通の女の子・・・じゃない12歳。中学1年生。
只今下校中。

名前は 角田 律子。

乙女でも無い。荒れてる女の子。自分で言うのはなんだけどさ。

「あー親父うっぜー。なんだよあのくそ親父は。
自分のストレス妹やうちにあてるなっつーの」

大きな声で叫んでみる。周りの視線が痛い。
ま 気にしないけどね。

うちの親父はここ最近性格が変わってしまった。
いや 最近じゃないか。多分これが本当の親父の性格だろう。

親父の性格。

- ・ 短気
- ・ 心配性
- ・ しつこい
- ・ 優柔不断
- ・ 怒ると八つ当たりしてくる
- ・ 自分を棚に上げて常に上から目線
- ・ 自分は嘘つくくせに人が嘘つくともものすごい怒る

うちにも当てはまることはいくつかあるなあ・・・。
なんであんな親父に似なきゃいけないんだよ。

「はああ・・・。」

ため息をつきながら思い出す。

うちの家族がが壊れ始めたのは半年ぐらい前だっけ。

親父が暴力を妹にふるい始めて

それを止めるうち。

親父と殴り合いみたいな喧嘩して

そのたんびに母親に止められて

母親と妹は泣いてたっけ。

それからしばらくして

いきなり親父が出てくって行って荷物まとめて出て行って。

泣き崩れる母親一緒に泣き崩れてる妹。

うちは唯一家族で泣かなかった。

なんで？って言われても・・・。

親父にはろくなことされた記憶が無い。

うちが幼い頃はまだしも物心ついてからの

あまりいい思い出が無い。

たまぁに パチンコで勝つと外食に連れて行ってくれたっけ。
パチンコで負けた日は不機嫌で暴力ふるわれる日もあった。

それにうちわ見てしまった。

親父は仕事から帰るとすぐに部屋に入っていく。

居間にいることがまず少ない人だったけど。

けど 3ヶ月前ぐらいからまったく居間に居ることが無くなっていった。

何かあるんじゃないか そう考えることが増えた。

うちわ親父が仕事中にコッソリ親父の部屋に行って親父のパソコンをいじって見た。

そしたら

予感は当たってた。

お気に入りアダルトサイトと出会い系サイトが。

「これは言うものか言わないのか・・・」

そんなことを考えてたら

親父が出て行った。

いまだに母親に教えてない。

けど

親父に女がいそうなのは確かだ。

母親も知ってるだろうし

うちが知っているとわかったら母親は恐らく泣くから言わないでおこう。

まっどーでもいいけど。

季節は秋。今日は10月11日。12日はうちの誕生日。
明日でやっと13歳かぁ・・・。
といってもお祝いされても嬉しくもなんとも無い。

なんでかって生きてる感覚が無いから。

ただ毎日過ごしてるだけ。
何もなく普通に。

笑ったほうがよさそうな時は
笑って

悲しんだほうがよさそうな時は
悲しんで

そんな 偽りで固めた自分で毎日過ごしてるうちに
人が信じられなくなっていくた。

特に男は親父の件もあってか嫌いになった。
元々好きじゃないけどさ。

いつの間にか人から心を閉ざして
強がって必死になって

幼い頃以外泣いたりしないようにして
人の前で泣くなんて考えられないような
そんな強がり人間になっていった。

貴方に出会うまでは・・・。

第二章 始まり

誕生日も適当にやり過ぎし
うちはあることにハマった。

ハンゲームって言うゲーム&コミュニティーサイト

昔やっていたけどそれどころじゃなくなって
引退したんだっけ。

ハンゲーム内での友達Ⅱハン友

ハン友のIDなんて覚えてる訳もなく

また新たに作り直すことにした。

「IDどーしよ・・・。」

とりあえず適当に自分の本名をそのまま使った。

☆rituko☆

「んー適当すぎるけど まあいいか。」

この時は思いもしなかった。
うちの人生を変えることがこのサイトに登録して

このサイトのチャットで遊んでただけで
変わってしまうとは。

ある日普通にハンゲ（ハンゲーム）のチャットで遊んでいた。

「ハン彼・・・？」

なにそれ。うまいの？

聞いたところによると

ハンゲーム内のみでの付き合いらしい。

中ではリアの関係になることもあるらしいけど。

うちには想像つかなかった。

会った事も無い人と付き合う？

無理無理無理無理。

ハンゲ内でのみの関係？

意味不明だって。

とりあえず遊び気分で

合コン部屋に入ってみる。

初めてだったこともあり戸惑ったが
教えてもらえたのですぐにわかった。

要領はつまりこうだ

まず軽く雑談

その後自己紹介

そして投票？（第一印象がいい人？に票を入れるらしい）をして
その後豆告（豆伝言告白） or メイン（メインチャット）告白をす
るらしい

で告白して付き合うことになったら一応その部屋の人に報告するら
しい。

ま　うちには縁のないことだけど。

あほらし。ありえないっつーの。

そんなことを考えていた。

前までは。

それからなんか適当にハン彼？をどうにか作ったものの
3日で連絡しないようになってめんどくさいから
もうどうでもいいやってなっちゃったんだっけ。

ハン彼との仲は放置状態が続いた。

11月23日

合コン部屋で貴方と出会った。

貴方Ⅱ卯月　碧依

あの頃のうちは自分のこと俺とか僕とか
とにかく言葉使いが荒れてて

出会った時も部屋のある人とうちが喧嘩してた。
喧嘩が終わった後　話しかけてくれたんだよね。

普通に面白い人だなんて思ってたけど。
まさか告白されるなんて思ってたよ。

「恥ずかしいんだけど・・・好きです・・・」

「うちハン彼いるよ? といってももうすぐ別れるけどそれでもいい
ならいいよ・・・?」

「別れるんでしょ? ならいいや」

貴方が言ってくれたね。

うちはこの時正直遊びのつもりで

告白OKしたんだ。

告白・・・嬉しかったけど。

その後合コン部屋がうちの喧嘩のせいで

合コンどころじゃなくなってる

解散になりそうだったときに

うちらはカップルになったこと発表したよね。

あの時

「いつの間に!?!」

「何影でやってんだよWWW」

とか色々言われたけど

なんとなく嬉しかった。

遊びから本気の恋になっていったんだ・・・。

うちの初恋に・・・。

それからこちらはお互いのハン友とかとも絡んだ。

毎日笑ってた。

特にジョーカ（うちのハン友）と碧依はすんでの所が一緒に話も意気投合して仲良しになったよね。

そしていつの間にか当たり前になってたよね。

うちが部屋作って貴方が来て
ちょっとラブラブして

その後ジョーカが来て

最終的には3人で毎日絡んでた。

幸せだった。

幸せが崩れる時間が近づいてることを知らずに笑っていた・・・。

第三章 冬の幻

ある日

珍しく碧依と二人でチャットしてた時
碧依が教えてくれた・・・

違うか・・・

「リツにささげる曲」

って言ってくれたんだよね。

A c i d B l a c k C h e r r y の 冬の幻って曲

嬉しかったなあ。涙が出るくらいに。
幸せで初めて涙が落ちた瞬間だった。

このことは碧依は知らないよね。

秘密にしてるもん。

恥ずかしくって言えないし。

それからだっけ。

うちはどんどん A c i d B l a c k C h e r r y 好きにな
っていった。

初めて買ったCDが A c i d B l a c k C h e r r y の
B L A C K L I S T

アルバムをいきなり買ってしまった。

初めて曲を聴き終わったとき
泣きそうになった。

音楽で感動したりすることなんか
これまでなかったのに。

うちは碧依と出会ってから

変わった。

泣き虫になって、

素直になることを知って、

ちょっとだけ素直になれたことも

あった。

今まで

強がることで逆らうことで

自分を示していた。

だけどね

今は違うよ。

今は

貴方のそばにいられるだけで

幸せです。

貴方と出会ったのは冬で

貴方と過ごしたのも冬で

貴方と別れたのも冬になるなんて

あのときのうちは

思ってたなかった・・・

あのときのうちは

幸せでした・・・

これから先の・・・

苦痛の3ヶ月を知らずに・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7346g/>

青空

2010年12月22日02時10分発行